

令和4年7月5日

教師協会各位 様

公益社団法人 全日本ダンス協会連合会

会長 小川純

## 2023 全ダ連ダンスフェスティバルご案内および今後のお願い

拝啓 盛夏の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は全ダ連の活動にご理解を賜り心より御礼申し上げます。

さて、別紙ご案内の通り、目下、全ダ連本部では、来年1月に「2023 全ダ連ダンスフェスティバル」のイベント開催を企図しております。3年にも及ぶコロナ禍ではありますが、新型コロナとの共生ということで、社会も動き出しました。そんな中であって、全ダ連も、今期からは新たにダンス普及事業委員長に選任された玉置朝啓副会長の下でダンス普及事業を展開してまいります。

楽しいダンスのプロデュースを念頭に、「プロ・アマミックスラテン戦」「プロ・アマミックススタンダード戦」「アマチュアチームマッチ戦」等々の競技会。そして、全ダ連の活動にご協賛いただく、「全ダ連プレミアサポート・アマチュアデモンストレーション（仮称）」など、内容の充実を図った大会要項を添えて、会員各位にご案内させていただきますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。ご出演頂く皆さまには、全ダ連が最高の礼をもってお迎え致します。全ダ連の会員、構成員の皆さまには、是非とも各方面へのお声がけと同時に、奮って参加をお願いするところでもあります。

さて、一般的な社交ダンス文化への興味減退によるダンス人口の減少や、既存ダンス愛好家ないし全ダ連構成員の高齢化に加え、新型コロナウイルス感染のための自粛など、全ダ連を取り巻く環境の変化に大変厳しいものがあることは既に皆さまご案内の通りです。伝統ある日本の社交ダンス文化の骨格の一部をなして、大きな足跡を残してまいりました私たちの全ダ連という組織が、設立以来最大の曲がり角にさしかかっていることは抗いようのない事実です。

このような状況の下、限られたノーハウと財源を活かして、全ダ連を更に活性化していくことは、今後も全ダ連を魅力ある組織として末永く維持してゆくための不可欠な条件となります。そこに「全ダ連ブランド」の構築の意義があります。この度の大会要項のご案内のように、全ダ連本部がインシャティブをとっていくことは言うまでもありませんが、なんと申しましても、全ダ連の活性化とは、各地域会、教師協会、構成員の皆さまの活動の活性化であり、それなくしては成り立ちません。このような会員参加型のイベントの開催を利用して、地域のダンス普及、構成員の営業機会発掘、イベント収入の留保などを通じて、各地域の構成員の維持・増加に繋げていただくことが目的ですので、この点を是非ご理解いただきたいと思えます。このような認識のもとで、各位には積極的に「2023 全ダ連ダンスフェスティバル」イベントへ参加をお願いすると同時に、関係各方面に周知徹底をお願いいたします。

全ダ連にとって、何もしないということが現状維持だった時代は終わりました。わたくし共の大切な全ダ連を守ってゆくためには、積極的な意味で何かをしなければならぬ状況です。「2023 全ダ連ダンスフェスティバル」開催に関係各位のご理解を賜りますようお願い申し上げます。 敬具